

令和2年度 高知市立学校 学校評価書

学校名 高知市立 高知商業高等学校

大項目	自己評価				学校関係評価	
	中項目	小項目 (評価指標・具体的な取り組み)	達成状況・改善方策	評価		
1・ビジネススマナー教育の徹底	(1) 精勤・皆勤を増やす指導の徹底と継続	①遅刻減少を目指す指導の展開 ②啓発・顕彰活動の展開 ③精皆勤3年間60%以上	①「遅刻0日」指導を継続する ②表彰を継続する(ライ、社マネ) ③2学期97、96、90%(各学年)	B	B	精皆勤者は増加
	(2) 教室の環境整備	①教室の棚・荷物の整理 ② 床拭き指導の展開	①1学期より改善されている ②クラスにより少しバラつきがある、SHR等での継続指導を行う	B	B	棚の整理整頓と学力は比例する
	(3) 授業規律スタンダードの徹底と継続	①授業における分離礼の統一指導の徹底と継続 ②「ベル開始」指導の徹底と継続 ③授業者1分前着の徹底と継続	①「出来るまで」評議員と確認し、やり直しを実施する ②③しっかり出来ている(プロジェクター準備等のため定着)	B	B	分離礼の指導の徹底
	(4) 環境美化指導の徹底と継続	①生徒玄関・駐輪場・トイレ・階段等 ②清掃後の振返り指導の継続と発展 ③副主任による教室の棚の整理指導の徹底と継続	①良く出来ている。駐輪場は定期的に確認する ②全掃除区域で一斉に取り組む ③取り組めており継続する	B	B	良い状態が保たれている
	(5) 職員室・準備室での指導の徹底と継続	①挨拶指導の徹底と継続 ②服装指導の徹底と継続 ③言葉使い指導の徹底と継続	①③やり直しを含め指導ができていて、継続指導を行う ②コロナや、天候により少し緩んだところがあるので再度指導を徹底する	B	B	成長を感じている
	(6) 交通安全指導の徹底と継続	①日常指導の徹底 ②自転車安全運転指導の徹底と継続 ③ヘルメット着用の推進	①月1回の継続指導を行う ②定期的に生徒部が資料、集会で注意 ③ヘルメット着用申請2名、着用1名	B	B	ヘルメットの着用率が低い、県下統一指導が必要
	(7) 服装指導の徹底	①計画的・系統的指導の徹底 ②日常指導の徹底 ③「校内」から「校外」へ	①～③登下校の制服・頭髪の徹底 進路指導と絡めて実施(2年) 生徒指導支援部と連携強化(3年)	B	B	多くの生徒は良い状態である
2・基礎学力向上指導の徹底	(1) 関心意欲態度・提出物・配布資料の管理の徹底	①規律・提出物と評価の一体化 ②配布資料管理能力の育成	①オリエンテーションで全教科において徹底されてきている ②専用ファイルで管理(多数)、ロイロノート、classi等の活用が進んでいる	B	B	一部提出物の期限が守れていない者がいる
	(2) 義務教育段階での学習内容の定着を図る指導	①各科目シラバスの計画的実施 ②小テスト・復習課題などの実施	①②各教科とも1学期の休業中のリモートにより継続して指導実施ができています 小テスト、再テストも定着してきた	B	B	よく指導いただいている
	(3) 学習行動及び家庭学習を促す指導の徹底	①学習意欲を向上させる指導 ②学習行動及び家庭学習を促す指導支援策 ア.検定合格や受験のための家庭学習等の早めの学習予定や計画の提示 イ.長期休業中の課題提示 ウ.3年生への卒業課題の提示 エ.新入生への課題の提示	①課題提示は、コロナ禍で心配の部分もあったが、各教科とも出来ている ②ア.イ.については、感染症対策をとり実施できた。補習については、コロナにより万全とはいかなかった ウ.課題研究の研究発表など実施できた エ.県下に先駆けて、タブレットにより実施できた	B	B	自己評価を尊重
	(4) 全員が全商検定1級を取得する指導	①3種目1級取得151名以上 ②卒業時1級取得100%	①3種目1級取得は、過去最高の99名を達成、更に粘り強く指導する ②卒業時1級取得100%についても同様に粘り強く指導する	B	B	よく頑張れている
	(5) 朝読時間の効果的な実施と計画	①原則的指導と例外的指導を明確にした指導	各科・コースとも目標に向けた特徴ある取り組みを実施している	B	B	自己評価を尊重

市商マネジメント力の育成						
3・市商マネジメント力の育成（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力）	(1) コミュニケーション力を育成する指導	①チームで働く力 ②グループワーク力 ③討論する力	①②③企業見学を実施、社会人と交流（ライ） 県内企業とコラボ（社マネ） 新聞のコピー等（図書） 密にならないよう実施（進路） 教員がつながる指導（相談）	B	B	成長を感じている
	(2) 課題発見・課題解決力を育成する指導	①タイムマネジメント力 ア. スケジュール手帳活用 イ. 自力で検定合格できる力 ウ. 段取り能力 ②調べる力 ③ノートを作る力 ④講義理解力（話を聞く力） ⑤論理的思考力・分析力	①M-Book を活用（定期テスト日程・目標点数、検定の補習日程・検定日、一日の振り返り等） ②信頼のおける情報の探し方（理科） ③良いメモ・ノートのタブレットでの共有（理科） ④企業見学で様々な状況を知る（ライ） ⑤企業企画書に使用するビジネスフレームを発表大会等の要旨づくりに活用（特活）	B	A	学校行事等において新たな伝統を築くことができています
	(3) プレゼンテーション力を育成する指導	①発表力・説明力 ②文書力（論述・論理的表現力） ③レポート作成力 ④記録・要約できる力	①体験入学の発表と授業を生徒主体で実施できた（ライ） story telling, concept mapping 等、パフォーマンステストで実施（英語） ②調べ学習→プレゼン→口頭試問の流れを課題レポートの発表等で実施（地歴） ③④ロイロノートを活用して授業におけるレポート作成（国語）	B	A	成長を感じている
	(4) ICT 活用力を育成する指導	①タブレットの授業での活用 ②ICT 学習教材の活用指導の実施	①②振り返り、課題提出、アンケート等ロイロノート・classi 活用（多数） 各生徒委員会等にてロイロノート、ZOOM を活用（特活）	A	A	素晴らしい先進的な取り組みがなされている
	(5) 英語活用力を育成する指導	①英語授業以外での英語の活用 ②集会におけるプレゼン指導	①専門的な用語を毎回、活用（芸術） ②代表者のプレゼンに英語を活用（特活） 体験入学の発表で活用（ライ）	B	B	自己評価を尊重
	(6) 失敗から学ぶ（創造する・挑戦する）	①行動する・挑戦することを推奨する指導 ②行動・挑戦後の振り返り指導	①前時の振り返りを質問し評価に組み入れ（国語） コメント・間違いを振り返り改善指導、評価に組み入れ（理科） 実技において次に活かす指導（保体） ②講演会・行事・試験等の振り返り実施（1年） 撤退から創造へ、市商マネジメントフェスティバル実施（特活）	A	A	行事や進路において高い目標をもって取り組んでいる
	(7) 察する（言われなくてもできる）力を育成する指導	①指示・説明を少なくし、考える機会・時間を確保 ②自ら気づき行動させるはたらきかけ	①役割分担・プランニングが必要とされる状況をつくる（地歴） 指示する時間を設定（理科） ②解決策を再検討する機会を多く設けている（特活） 気づきに対する評価や声掛けを増やした（保体）	B	B	成長を感じている
市商マネジメント力育成のための改革						
(1) 教え方改革 M型・W型・MW型 授業の実践	①川下から授業を組み立てる ア. 到達目標とプロセス評価を明示する イ. $A \times B \times C = D$ アウトプット ウ. 待ち針指導による必然性を明確 ②振り返り・プロセス評価まとめ ③課題の提示→主体的学び・評価	①授業担当者による M 型・W 型授業が進んでいる（商業） ②プロセス評価の基準を明確にして改善点をブラッシュアップするよう指導（家庭） ③日常の授業でロイロノートで提出させることで緊張感を出し意欲アップにつながった（多数） PTA 便りで教育活動の成果を発信（総務）	B	B	自己評価を尊重	
(2) 力の入れどころ改革（コンテンツ・ビッグデータの活用）	①教科科目ごとのシステム化 ②教材開発・研究の推進（自己課題研究による外部発信）	①②データの読み取り方の指導を重視（理科） データを活用して現状を把握させ課題に取り組ませるため、図やグラフを積極的に活用（地歴）	B	B	自己評価を尊重	

	(3) テスト改革 論理的思考力・判断力・社会との繋がりを問う問題を問う問題	①主体的な学びを学習成果に繋げる指導 ②成果発表会の実施 ③学習内容とリンクした修学旅行の実施	①共通テストの試行錯誤問題の形式を参考に問題を作成、研究を継続（国語・地歴・理科）タイムリーな話題、単元に関する内容で定期考査を実施（理科）ライティングテストで時事問題をテーマ（英語）社会問題について論述（家庭） ②③二か国語表記については、研修旅行をテーマに3学期実施（社マネ） ③四万十町 ICT 研修実施（情マ）	B	B	自己評価を尊重
	(4) 評価改革（観点別評価・ルーブリック評価の実施）	①毎時間のプロセス評価 ②教科会での共有と基準の明確化による評価の実施	①②実施できている（多数） ②論述については、採点基準を明確にして採点時間短縮を図った（家庭）	B	B	自己評価を尊重
4. 学びに向かう力の育成（学びを人生や社会に生かそうとする力）	(1) 高知に貢献する力を育成する指導	①授業における 学びを高知の課題と結び付けて理解できる力の育成 ②授業、課題研究・学校設定科目等においてグローバルな視点を持って地域の活性化を考え企画できる力の育成 ③積極的に企業・大学・行政・地域の方々と連携・協働し行動できる力の育成	①③研修旅行に関連して高知県の課題に結び付けて研修旅行を実施できた（特進、ライ、情マ） ②高知県活性化の公募（ポスターコンテスト）2名入賞（情マ）、各種コンテストに応募し受賞者を出した、5つのコンテストで、優良賞1名奨励賞1名佳作2名入選21名（国語）	A	A	様々な取り組みを通じて社会とつながることができている
	(2) 高いレベルの進路を目指す生徒を育成する指導（進路指導改革）	①国公立大学受験者合格者を増やす指導 ②公務員就職対策指導 ③動機づけ（講演会・オリエンテーション等） ④面接・文書作成指導の改革（コンピテンシー面接やオリジナル文書作成指導の実施） ⑤卒業生や外部指導者 による指導 ⑥縦割り学習の実施	①国公立大学45名合格 国公立希望者と集会を実施（ライ） 国公立講座100名以上受講（進路） ②数学演習の授業で就職対策（数学） ③教科の協力を得て進路関係の本を充実させ利用を促進（図書）進路講演会をYouTube Live で実施（進路） ④希望の進路に応じ個々に対応したがネタ配りの志願理由の指導に苦勞した（理科）短期集中指導となり時間が遅くまでかかった（家庭） ⑤実技の過去動画や大学生の動画を資料として提示（芸術） ⑥各科コースで継続する	A	S	素晴らしい取り組みが行われ成果も修められている
	(3) 高いレベルの資格検定を目指す生徒を育成する指導	①日商簿記2級20名以上 ②基本情報・ITパスポート3名以上 ③実用英検2級30名以上	①5名合格、うち1年生が1名合格 ②ITパスポート3名合格 ③2名合格	C	C	結果が出ていない
	(4) 行事・講演会・報告会等の質的向上をめざす指導	①積極的な企業・大学・行政との連携 ②市商マネジメントの視点を持った生徒の主体的な参加による運営 ③各種オリエンテーションの質的向上	①高知工科大への訪問と高校訪問授業の実施（情マ） ②生徒を主体とした体験入学の実施（全科・コース）市商マネジメントフェスティバル実施（特活） ③HP で広報	B	B	コロナ禍においてできることを考え取り組む姿勢が素晴らしい
	(5) 全国的レベルの部活動、生徒会活動の実現	①全国大会出場15種目以上 ②部活動加入100%実現	①運動部2種目、文化部2種目。しかし、ほとんどがコロナ禍で大会が実施されず ②ほぼ100%実現	B	B	大会が中止になり残念
	(6) 文化活動を活性化させる指導の充実	①文化部・授業での積極的な各種大会の参加やコンクールへの応募 ②文化活動・各種大会応募実績40種目以上	①JICA エッセイコンテストに応募（社マネ）各種コンクール案内を classi で配信、応募は評価にも（国語） ②10種目、コロナ禍で中止多数	B	B	大会が中止になり残念
	(7) ポートフォリオ等による主体的に学習に取り組む態度に対する適切な評価	①主体的な整理・蓄積への指導 ②定期的な振り返りによる学習意欲を向上させる指導	①②授業の中で説明、タブレットとあわせてノートに「書いて残す」ことを行う（情マ）取り組み内容をロイロノートへ保存させることに取組んだ（理科）	C	C	ポートフォリオに関してはばらつきがあり、統一した指導がなされていない

5・各部署組織運営計画	(1) 各部署の組織運営・組織活動の活性化	①計画的かつ主体的な組織運営・組織活動の実施 ②明確な役割分担と責任体制の確立 ③報連相の徹底 ④情報の共有化	①～④一学期のコロナ対応の経験値が活かされ、各校務分掌・各担当において正常な校務運営がなされた	A	A	自己評価を尊重
6・重点学校組織運営計画	(1) 情報管理(組織文化)	①市商ブランド化戦略を推進する・あらゆる広報にこれを位置づけ、掲示物やオリエンテーション・集会等による積極的な情報発信を行い、ロゴマークや標語を開発する ②庶務システム・Groupware の効率的な運用を図る・マニュアル化と積極的な情報発信を促進する ③キャリアパスポートの体系的な運用を実施する ④Classi の全校的運用を本格化し、諸会議におけるペーパーレス化を推進する ⑤卒業4年後の生徒の進路調査を行い、高知への貢献度を分析する	①体験入学における生徒による各科・コース説明のレベルが年々向上しており、その中で市商マネジメント力の発信がしっかり行われている ②効率的に運用されている ③学年主任と連携をとり進める。講演の振り返りを記入できるように改善をする提案あり ④学校からの生徒・保護者向けの情報発信は効果的に行えている。生徒向け伝言板を2学期から取り入れ、業務改善を推進 ⑤調査項目の見直しと再実施を検討	B	B	自己評価を尊重
6・重点学校組織運営計画	(2) 人材開発(組織過程)	①授業実践スタンダードM型W型MW型の研究を深め、ICTの活用を促進する ②研究授業の質を向上させる・管理職・主幹教諭が事前検討会に一層参加し当日ビデオ録画する等事後検討会を充実させ、その後「研究授業観察レポート」を掲示板にて発信する ③進学指導力の向上・面接指導力、文書指導力向上のための研修・研究を行う ④初任者・年次・期限付・時間講師等の指導力向上 ⑤職員のタブレットの活用力・活用率の向上を図る	①②⑤研究授業におけるICT活用(特にタブレット)は全教員が取組んでいる。M型ではOutput教材の作成、W型ではワークを行う意義や指導言に課題が見られた。ビデオは活用できず ③小論文研究会の自主開催(8月)、2学期以降の取組の中で実現させていく ④年次研修は充実した内容で実施されている	A	A	自己評価を尊重
6・重点学校組織運営計画	(3) 改善力のある組織体制	①危機管理3大原則を徹底する ①不登校・いじめ等に関する情報収集 ②報連相の徹底 ③適切な初期対応 ②職員の挨拶、整理整頓など凡事徹底を図り、朝は希望で始まる職朝を実施する ③積極的な広報活動を組織的に行う・管理職・主幹教諭をリーダーとした広報班を作り、RPDCAシステムを構築する ④ICT教育推進委員会を設立し、効果的効率的な運用を行う ⑤会議は定刻に始める ⑥ワークライフバランスを目指して「チーム市商」としての組織運営を推進する・本校の勤務の在り方について独自性を生かしながら整理する(2学期始業式・採点日・振休等) ⑦政策提言力を向上させる・事務長・係長・市教委との合同会議を実施する⇒高等学校企画政策室の充実発展を図る ⑧管理職・主幹教諭もR-PDCA表を作成し運営しサポートシートも記入する	①生徒指導支援部・学年・教育相談・人権・保健室を中心に情報収集と対応が適切になされている。先生方からヒヤリ・ハットの声を上げていただき適切な初期対応ができています。 ②鋭意実施中、教育公務員としての意識を高め危機管理の向上に努める ③ホームページのトピックスをもっと早く出す ④機器の設定・破損等の対応は順調、次年度のタブレット導入計画は難航している ⑤放課後の会議時刻は16時から実施 ⑥「働き方改革八策」を示し、超過勤務時間80時間以上0人を目指す。9月6人、10月5人、11月5人、12月0人、1月0人20時完全退行を目指す ⑦市教委指導主事、事務室、管理職の合同会議を週1回開催している ⑧作成して共有を図っている	B	B	自己評価を尊重

7・安全・防災教育	(1) 交通安全指導の充実	①自転車安全指導の徹底 ②旭校区の諸団体との連携	①緊急集会の実施 ②コロナ禍により未実施	C	C	自転車の事故が多く危険
	(2) 防災教育の充実	①系統的な年間計画の策定と実施 ②地域と連携した避難訓練の計画と実施	①シェイクアウト訓練の実施、避難訓練、浄水器の利用を含めた研修を3学期実施 ②コロナ禍により未実施	B	B	自己評価を尊重
8・総合評価	(1) 高知県に貢献し、特色ある学校として中学生に選ばれ、進学にも就職にも強い持続的発展可能な学校	①体験入学参加者および受験者の増加 ②進路決定100%実現 ③県内進学就職率の向上 ④学校が同じ方向を向くためのPDCAサイクルの実現	①体験入学参加者が昨年度より100人程減少、積極的な広報活動を推進 志願者数7年連続1位 ②100%を目指す(受験中生徒) ③進路調査の実施を継続する ④R-PDCA表に改善内容が具体的に書き込めるようになること	B	S	各項目を満たしている。